事業所名　グループホーム　パラディ
作　成　日　：　平成24年　9月　7日

目 標 達 成 計 画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目　標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間	目標達成状況(任意)
1	10	家族の意見や要望を採りいれる為の機会を設けてはいるが、利用者の「看取り」や「日常生活」に対する意見や要望が少ない。	家族の意見や要望を引き出せる場面をつくり、出された意見や要望を、日々の運営に活かせていく。	・話し合ってもらいたい内容を挙げてアンケートを作成し、テーマに基づいた家族会を開催する。 ・面会の時(面会に来られない方には電話)に、意見を伝えられる様な機会をつくる。	6　か月	
2	4	運営推進会のメンバーと、限られた地域住民以外との交流が希薄である。	ミニ勉強会の開催を通じ、近隣住民との交流の機会をつくり、より多くの方に理解や協力を得ることが出来る。	・地域のサロンに出向き、勉強会を開催する。 ・在宅支援センターの職員と連携をとり、地域活動に参加する。	12　か月	
3	33	終末期の支援について、利用者の希望や家族の意向に沿った支援が出来る体制が整っていない。	事業所の現状にあった終末期の支援を行う。	・利用者の日常会話から終末期の希望を聞き、重度化にむけ、段階ごとに家族・主治医と話し合う。 ・職員の終末ケアへの不安を聞きとり、勉強会の開催を行う。 ・各ユニット一人の夜勤体制を導入する。	18　か月	
4					か月	
5					か月	

事業所名　グループホーム　パラディ
作成日　：　　　　　　　平成24年　9月　8日

サービス評価の実施と活用状況表

事業所のサービス評価の実施と活用状況について振り返ります。「目標達成計画」を作成した時点で記入します。

【サービス評価の実施と活かし方についての振り返り】

	実施段階	（↓該当するものすべてに○印）	取り組んだ内容
1	サービス評価の事前準備	○	①運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った
		○	②利用者へサービス評価について説明した
		○	③利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした
		○	④運営推進会議でサービス評価の説明とともに、どのように評価機関を選択したか、について報告した
			⑤その他（　　）
2	自己評価の実施	○	①自己評価を職員全員が実施した
		○	②前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った
		○	③自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った
		○	④評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った
			⑤その他（　　）
3	外部評価（訪問調査当日）	○	①普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった
		○	②評価項目のねらいを踏まえて、評価調査員と率直に意見交換ができた
		○	③対話から、事業所の努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た
			④その他（　　）
4	評価結果（自己評価、外部評価）の公開	○	①運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った
		○	②利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った
		○	③評価機関へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った
		○	④運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った
			⑤その他（　　）
5	サービス評価の活用	○	①職員全員で次のステップに向けた目標を話し合い、「目標達成計画」を作成した
		○	②「目標達成計画」を利用者、利用者家族や運営推進会議で説明し、協力やモニター依頼した（する）
		○	③「目標達成計画」を評価機関へ説明し、提出した（する）
		○	④「目標達成計画」に則り、目標達成に向けて取り組んだ（取り組む）
			⑤その他（　　）